

## ラゲージウッドデッキ 取付要領書

(品番：D2647-61510, MSD56-B1001) 型式：A2##A-GB## 設定グレード：除く HV車

このたびは、モデルスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、**ラゲージウッドデッキ**の取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行ってください。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか確認してください。
- 車両が動かないよう、エンジンを切り、車止め等をして作業してください。
- 開梱時、同梱部材の有無、製品本体の不具合が無いか、取り付け前に確認してください。
- **ラゲージウッドデッキ**を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリを取り除いてください。
- 重要** ■ 両面テープは、外気温が **20℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行ってください。
- 重要** ■ 両面テープの圧着を充分に行ってください。**49N (5kgf) 以上**

### 取り付け完了後の点検・注意事項

- **ラゲージウッドデッキ**が、車両に確実に装着されているか確認してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか確認してください。
- 取り付け完了後、**ラゲージウッドデッキ**及び車両部品に傷がついていないか確認してください。
- 取り付け完了後、**3時間程度**は強い力を加えたり、濡れない様注意してください。  
(両面テープの剥がれ、純正デッキボードと各ボードの間に隙間が発生する恐れがあります。)

取付要領書には下記マークを使用しております。



**注意**

この取り付けは特に重要な項目です。必ず読んでお守りください。  
守らないと傷害や事故につながるおそれがあります。

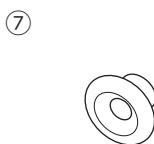
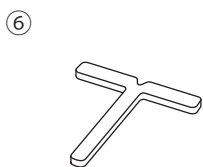
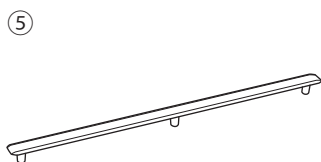
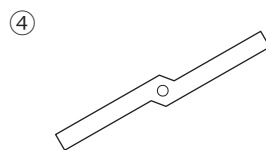
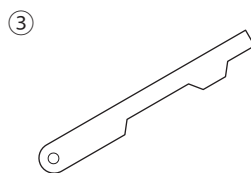
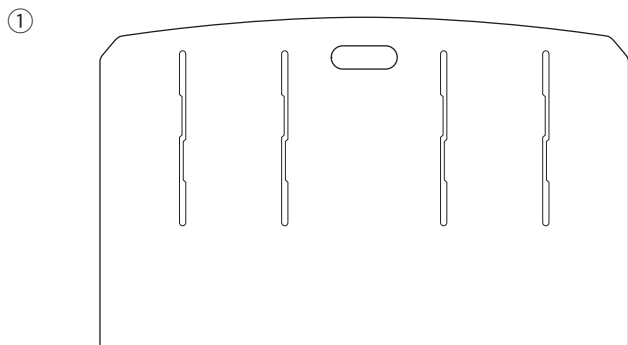


**アドバイス**

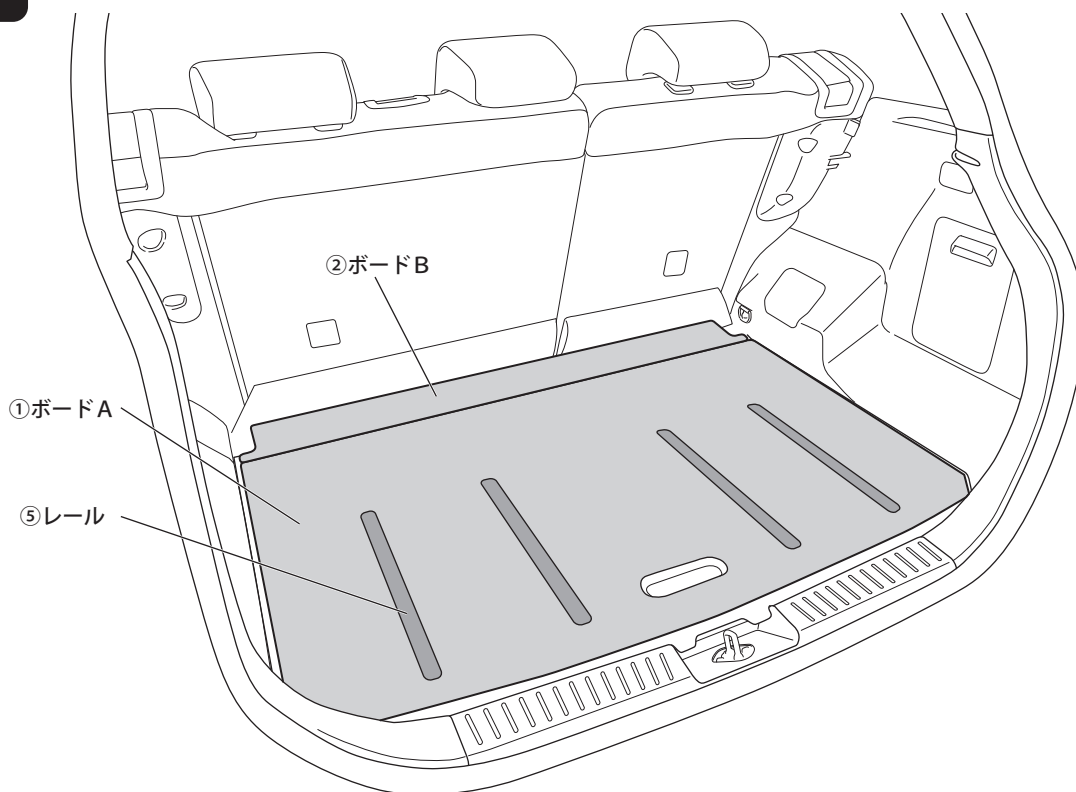
この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

No.	品名	個数
①	ボードA	1
②	ボードB	1
③	端用ゲージ	2
④	中央用ゲージ	1
⑤	レール	4
⑥	位置出しゲージ	2
⑦	スペーサー	12
⑧	タッピングビス (4×25)	12
⑨	取付要領書	1

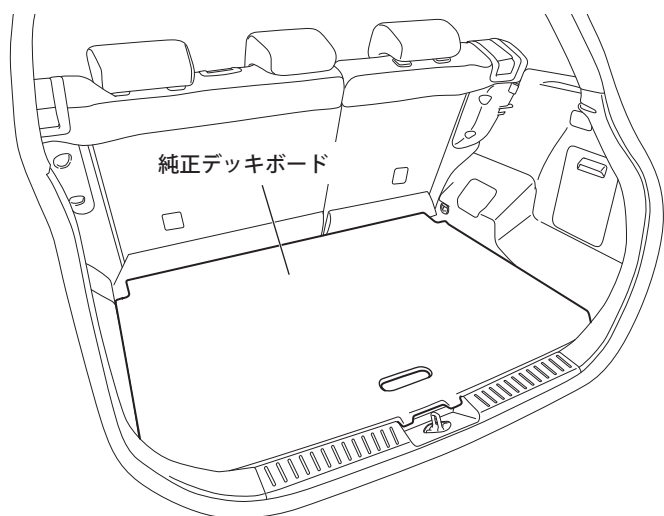


取付概要



# 取付手順

1

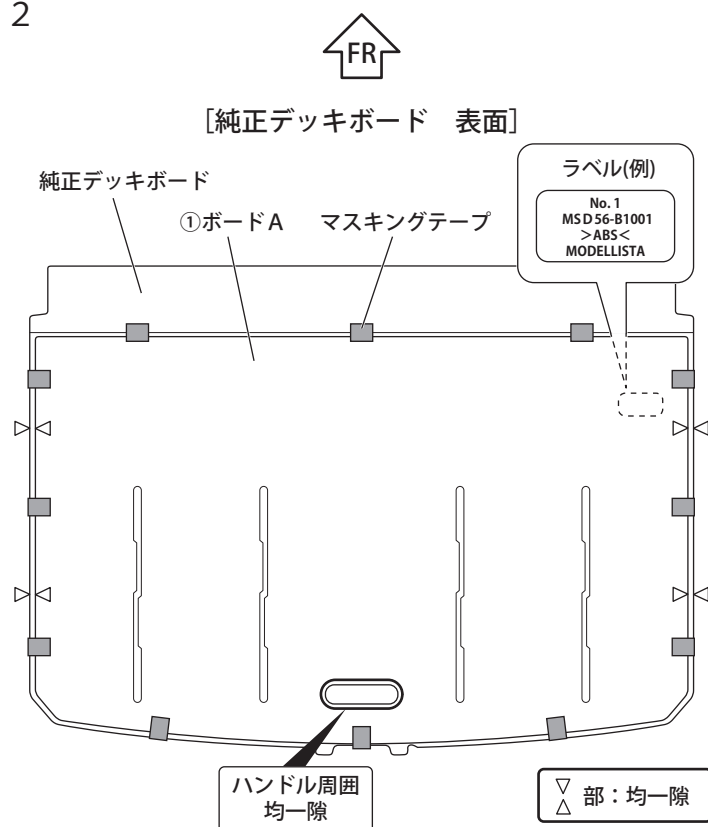


1. 車両ラゲージスペースから純正デッキボードを取り外す。

## アドバイス

手順2以降は、安定した机の上で作業してください。

2

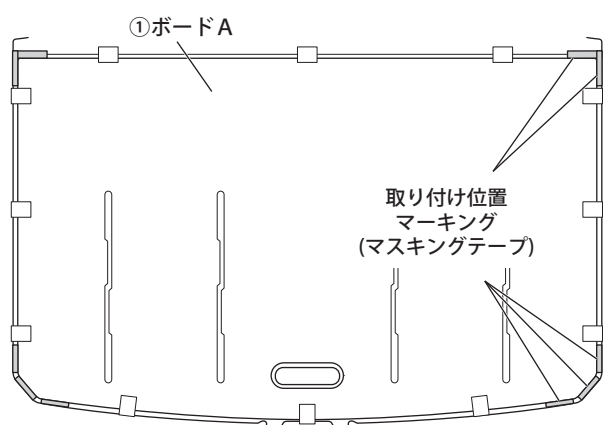


2. ①ボードAを、純正デッキボードのハンドル周囲の隙が均一になるように仮あてし、左右▷◁部の隙が均一になるように位置を調整して、図のようにマス킹テープで固定する。

## アドバイス

各ボードの木目を合わせるため、ボード裏面には図のようなラベルが貼られています。ラベルがRH側になるようにボードを仮あてしてください。

3

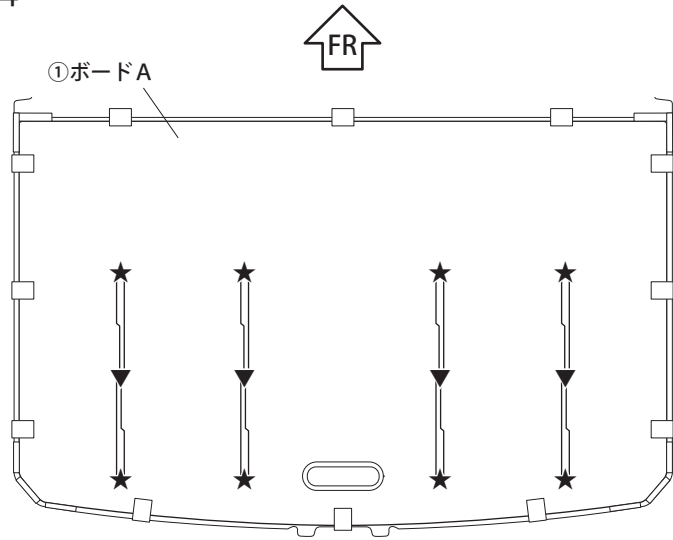


3. ①ボードA四隅にマス킹テープで取り付け位置をマーキングする。

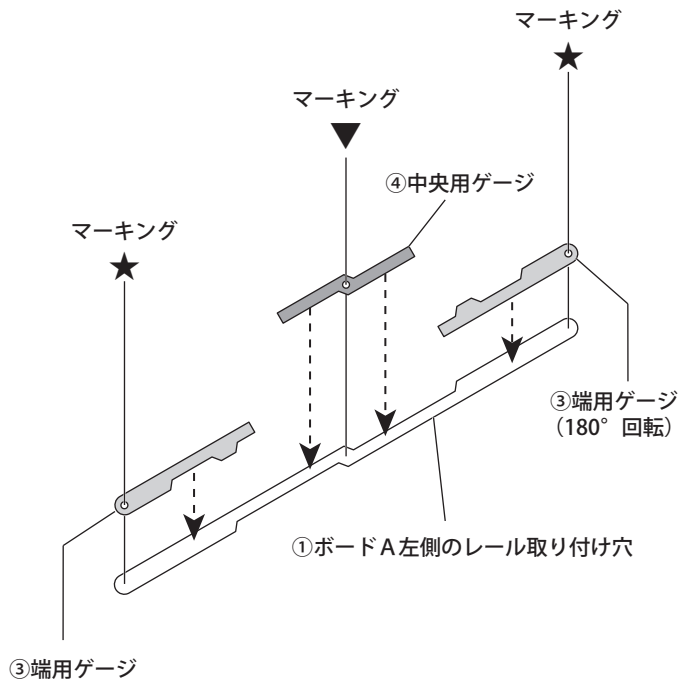
## 注意

取付位置マーキング (マス킹テープ) は、手順18まではがさないでください。

4



[拡大図] ①ボードA左側のレール取り付け穴を代表



4. ①ボードA上のレール取り付け穴に合わせて[拡大図]のように③端用ゲージおよび④中央用ゲージをあて、ゲージの穴中心を目安にして純正デッキボード表面に穴あけ位置をマーキングする。

★：③端用ゲージ使用箇所  
マーキング位置全8ヶ所。

▼：④中央用ゲージ使用箇所  
マーキング位置全4ヶ所。

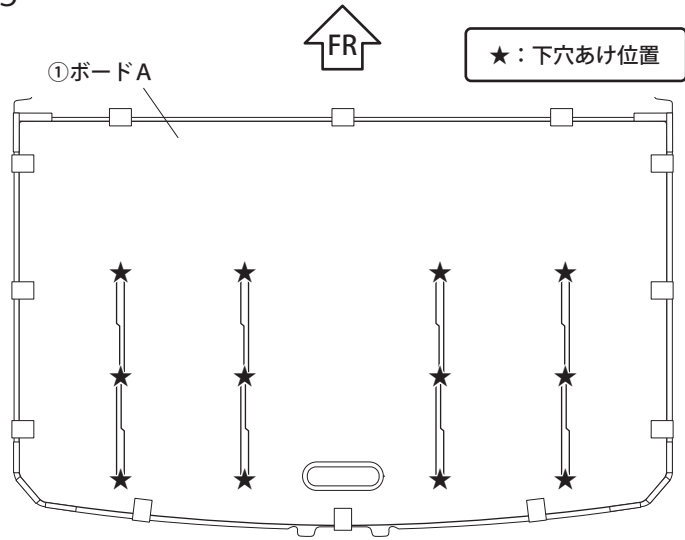
#### 📖 アドバイス

マーキングには、水性ホワイトダーマトペン等を使用してください。

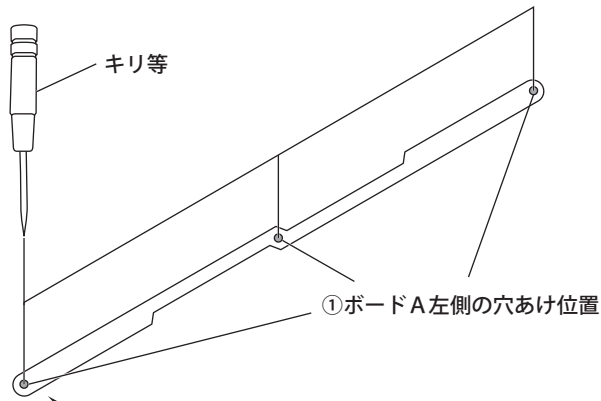
#### ⚠️ 注意

ボードの位置ズレを起こさないよう、注意してマーキングしてください。

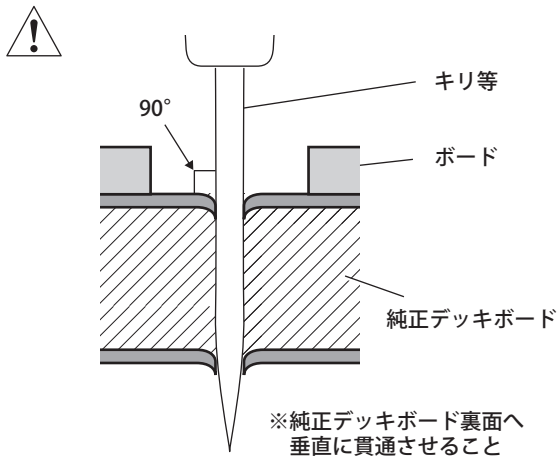
5



[拡大図] ①ボードA左側の穴あけ位置を代表



[断面図]



5. 穴あけ位置マーキングの中心を目安にして、純正デッキボード裏面まで垂直にキリ等で下穴（貫通穴）をあける。（全12ヶ所）

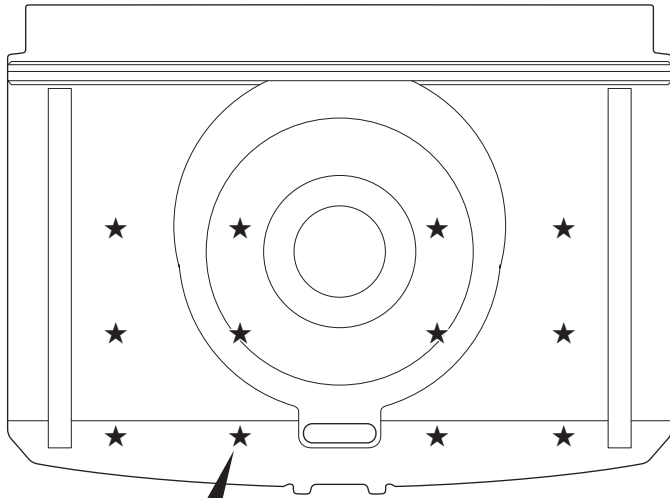
⚠ 注意

- キリ等で下穴をあけるときは、純正デッキボード裏面まで、垂直に貫通させてください。
- ボードの位置ズレを起こさないよう、注意して下穴をあけてください。
- 下穴をあけたあとは、純正デッキボード裏面まで貫通していることを確認してください。下穴が小さかったり歪んでいたりはしたときは、もう一度表面から垂直にキリ等を差し込んで、しっかりと貫通させてください。

6. 純正デッキボードから①ボードAを取り外す。

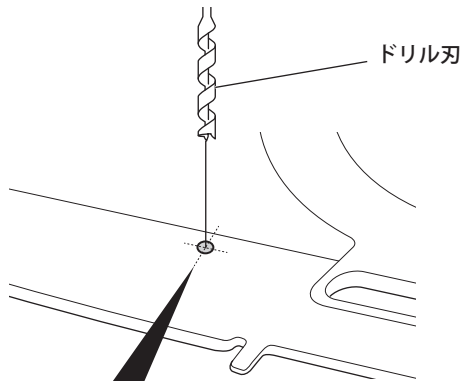


[純正デッキボード 裏面]

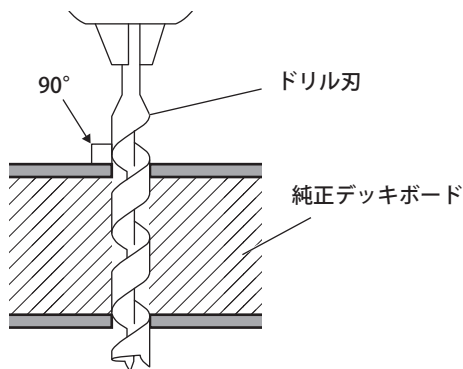


★：穴あけ位置

[拡大図]



[断面図]



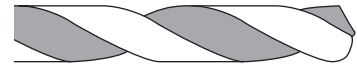
※純正デッキボード表面へ  
垂直に貫通させること

7. 純正デッキボード裏面の、キリ等の下穴位置を目安にして、ドリル刃の種類に応じて次の順番に穴（純正デッキボード表面までの貫通穴）をあける。  
（全12ヶ所）

- 木工用（樹脂用）ドリル刃の場合：  
φ 9（本穴）

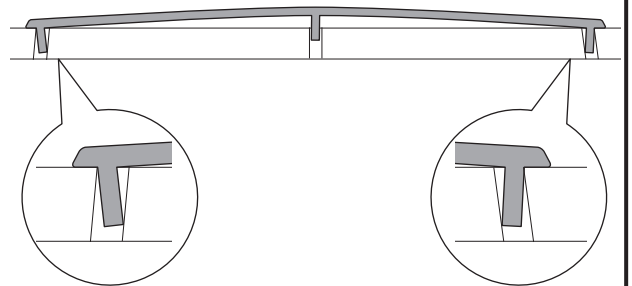


- 金属用ドリル刃の場合：  
φ 3（下穴）→ φ 9（本穴）



### ⚠ 注意

- 穴をあけるときは、純正デッキボード表面まで、垂直に貫通させてください。穴が斜めにあけられた場合、レールが正しく取り付けられません。



※穴が斜めの場合は、レールのボスが真っ直ぐに差し込めません。

- 穴を一つあけるごとに、ドリル刃に付着した切子を取り除いてください。

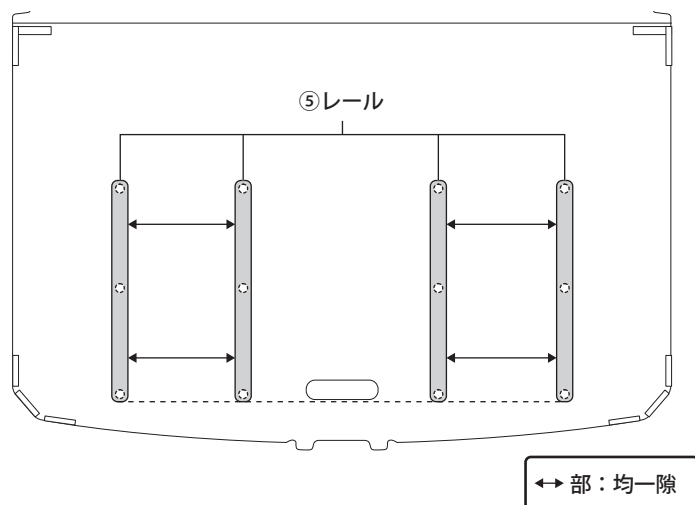
### 📖 アドバイス

穴あけは、作業性を考慮して木工用（樹脂用）ドリル刃を使用することをおすすめします。

8. 穴周囲のバリを除去する。
9. 純正デッキボード表面／裏面の汚れ、埃を除去する。



[純正デッキボード 表面]

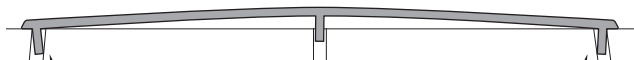


[断面図]

○ 垂直穴にレールが正しく差し込まれている

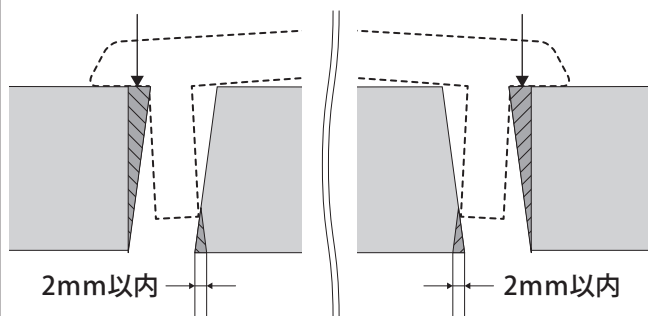


✕ 垂直穴でない場合、レールが正しく差し込めない



[拡大図]

※純正デッキボード表面から削って調整



※純正デッキボード裏面から削る場合は、  
2mm以内におさえる

10. 純正デッキボードを表面に戻し、手順7であけたφ9穴に⑤レールのボスを差し込む。各レール下部先端の位置が揃うように、かつ図の↔部の間隔が均一になるように調整する。

このときレールが傾くなどして正しく取り付けられない場合は、純正デッキボード表面のφ9穴をヤスリ等で少し削り広げて調整する。

### ! 注意

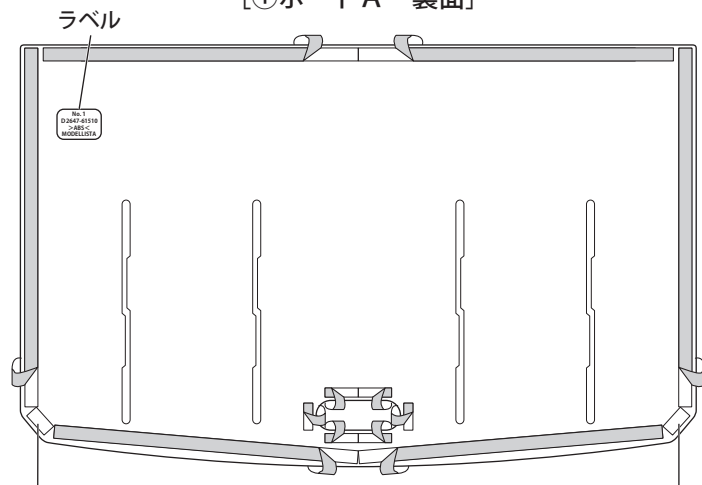
- φ9穴の調整は、純正デッキボード表面から、慎重に少しずつ行ってください。
- 純正デッキボード裏面からの調整が必要な場合は、2mm以上削り広げないでください。レールが正しく取り付けられなくなるおそれがあります。

11. 純正デッキボードから⑤レールを取り外す。

12

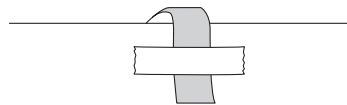


【①ボードA 裏面】



※この箇所の離型紙はすべてはがす

12. ①ボードA裏面の両面テープの離型紙をめくり、表面に折り返してマスキングテープで固定する。



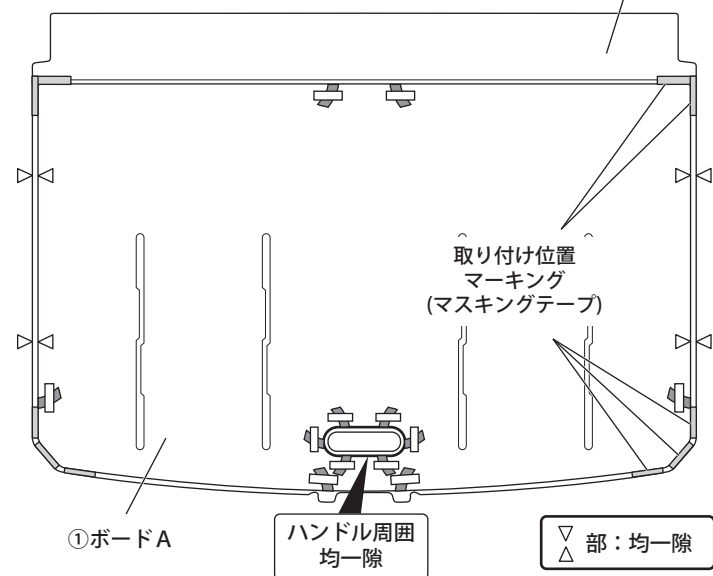
ボード表面に仮止めする

13. 純正デッキボード表面四隅の取り付け位置マーキング（マスキングテープ）を基準に①ボードAを仮あてし、ハンドル周囲の隙が均一になるように、かつ左右▷◁部の隙が均一になるように位置を調整する。

13



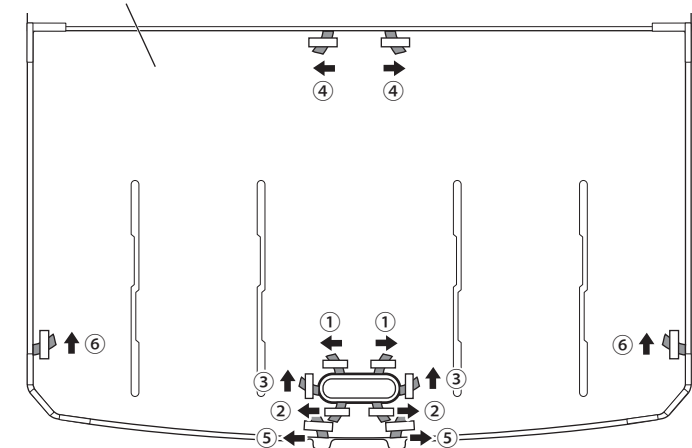
【純正デッキボード 表面】 純正デッキボード



14



①ボードA

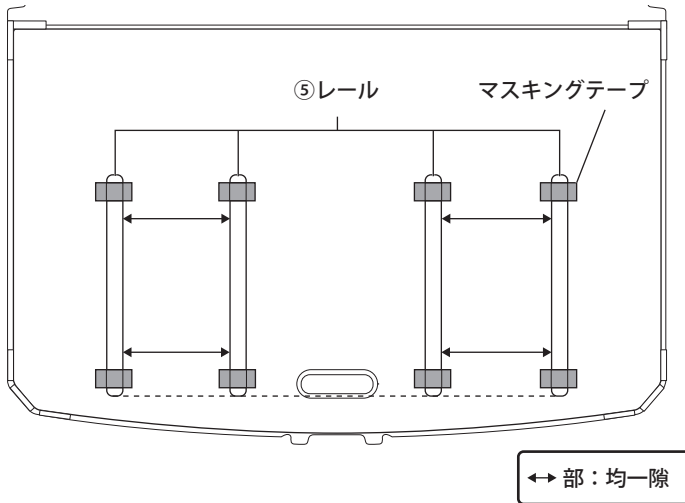


14. ①ボードAを上から手で垂直に押さえ、左図の順番で離型紙を引き抜きながら49N（5kgf）以上の力で圧着する。

**注意**

- 必ず指定順番にて左右交互に離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・はがれの原因となる可能性があります。
- ボードの位置ズレを起こさないよう、注意して離型紙を引き抜いてください。

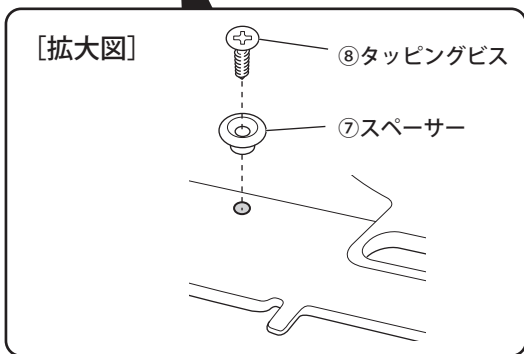
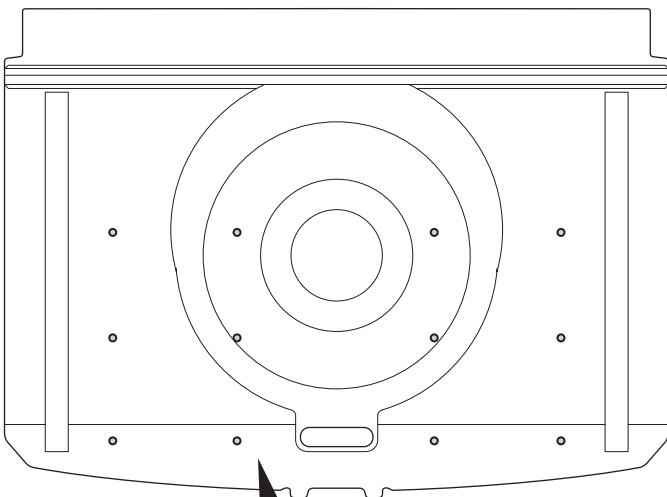
15



16



[純正デッキボード 裏面]



15. ⑤レールのボスをφ9穴に差し込む。各レール下部先端の位置が揃うように、かつ図の↔部の間隔が均一になるように調整し、マスキングテープで固定する。

16. 純正デッキボードを裏返し、φ9穴に⑦スペーサー、⑧タッピングビスの順に取り付け、ドライバーで本締めする。(全12ヶ所)

**注意**

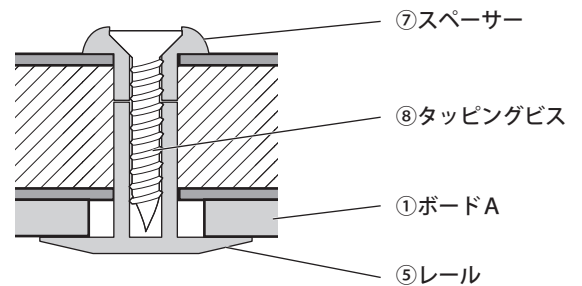
⑧タッピングビスは強く締め付けすぎないでください。各部品が破損するおそれがあります。

参考締め付けトルク：  
0.8~1.0 N·m (0.08~0.1 kgf·m)

**アドバイス**

⑧タッピングビスは、頭部が下図の位置になるまで締め込んでください。

純正デッキボード裏面

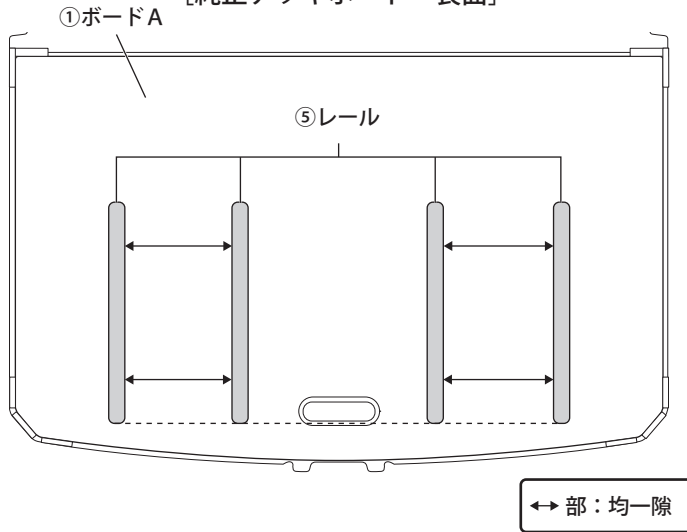


純正デッキボード表面

17



[純正デッキボード 表面]



17. 純正デッキボードを表面に返し、レールを固定していたマスキングテープを全てはがす。レールにガタつきがある場合は、⑧タッピングビスを少し緩めて調整し、再度締めなおしてしっかりと固定する。

⚠ 注意

- ⑧タッピングビスは強く締め付けすぎないでください。各部品が破損するおそれがあります。

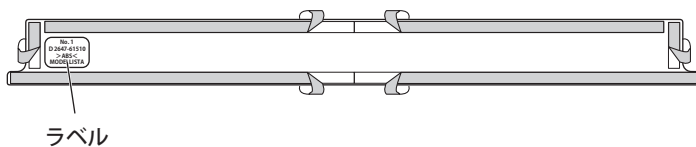
参考締め付けトルク：

0.8～1.0 N・m (0.08～0.1 kgf・m)

19

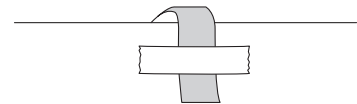


[②ボードB 裏面]



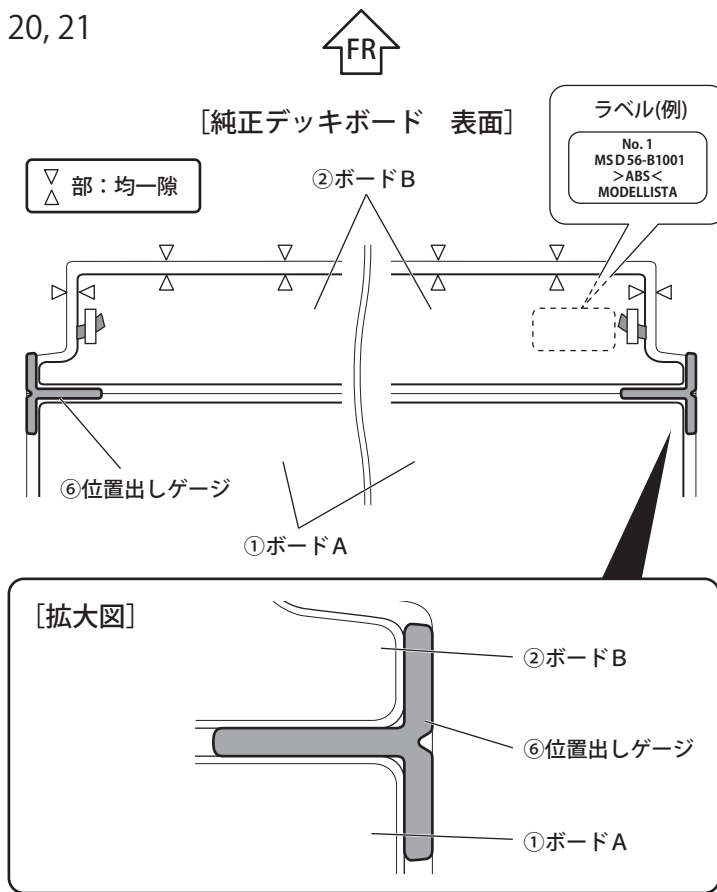
18. ①ボードA四隅の取り付け位置マーキング (マスキングテープ) を全てはがし、①ボードAの取り付けがしっかりと行われているか確認して①ボードAの両面テープ貼付け部を再圧着する。

19. ②ボードB裏面の両面テープの離型紙をめくり、表面に折り返してマスキングテープで固定する。



ボード表面に仮止めする

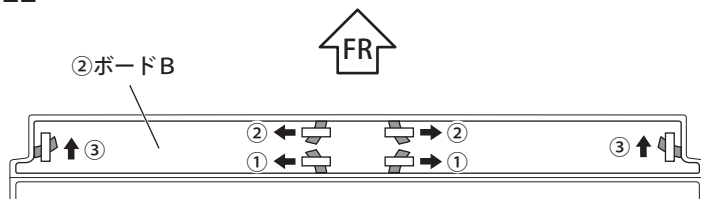
20, 21



20. ①ボードAの左右上端に⑥位置出しゲージを図のように突き当てる。

21. ⑥位置出しゲージを基準にして、②ボードB裏面のラベル貼り付け位置がRH側になるように仮あてし、図の▷◁部の隙が均一になるように位置を調整する。

22



22. ②ボードBを手で垂直に押さえ、左図の順番で離型紙を引き抜きながら49N (5kgf) 以上の力で圧着する。

### ⚠ 注意

- 必ず指定順番にて左右交互に離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・はがれの原因となる可能性があります。
- ボードの位置ズレを起こさないよう、注意して離型紙を引き抜いてください。

23. 取り付けがしっかりと行われているか確認し、②ボードBの両面テープ貼付け部を再圧着する。

24. 完成したラゲージデッキボードの汚れ、埃を除去し、車両に戻す。